

機関リポジトリが図書館を変える

土屋俊
(千葉大学)

2009年2月9日 DRF-Ookayama
東京工業大学にて

正しいタイトルは何か

- 機関リポジトリは図書館を変える
 - と、DRF Wikiとあり、たしかにこれは、昨年12月25日に自己申告したものだが、頭の中では
- 機関リポジトリは大学を変える
 - となっていた。これは、途中で、
- 機関リポジトリは大学図書館を変える
 - というつもりになっていたからだが、今日の本当の意図は、
- 機関リポジトリは学術を変える
 - であり、上の3つはそのコローリーにすぎないかも
- 図書館は機関リポジトリである

つまり、

- 機関リポジトリが、(十分な数の)高等教育機関・研究機関に設置されるようになれば、
 - ⇒研究成果共有の基盤が確立する(実質オープンアクセスになる)
 - ⇒教育資料資源共有の基盤が確立する
 - ⇒研究資料(データ、データベース)共有の基盤が確立する(eScience)
 - ⇒研究環境の共有が可能になる(eResearch)
 - ⇒さまざまな評価事業の客観的基盤が確立する
- ⇒教育も研究も大学も図書館も変わる
- (変わらないのは教員だけ?図書館員も?)

資料資源の共有

- 従来の図書館の役割 = キャンパスにおける資源共有の(中間的)拠点
 - 導入物質資料の共同利用のための管理・運用
- 電子化によって「物質」⇒「情報」そのもの
 - 管理・運用は「発生源」でやるべきという方向性
 - 受入・目録・配架(・出納)は不要になる

⇒従来の図書館業務は消滅する(した)
- そのキャンパス独自の研究と教育
 - 機関リポジトリが「発生源」となるべき資料

教育基盤

- 教育現場の絶望的な(非)電子化状況
 - 授業で使う参考資料がオンラインで見られないなんて変 ⇒ 学生が図書館に来て本を探すのは喜んではいけない
 - そんなことから、Google、Wikipediaをみんな使う
 - Google、Wikipediaを批判してもはじまらない
 - 授業で使った資料をオンラインで復習できないのは変
 - Podcastでよいから、とにかくビデオをとってしまえば？
 - 良い教科書は現場の経験からしか生まれない
 - 「家で勉強できる情報環境」の構築が必要
 - リモートアクセス、シングルサインオン
 - 図書館だけはできない、図書館にはできない

研究基盤（成果・データ・コミュニティ）

- 研究成果（雑誌論文）のネットワーク共有は常識
 - 研究方法の共有
 - 「プロトコル」⇒「雑誌」まで出るようになった
 - データの共有へ
 - データ収集は、一回的、一か所的にならざるを得ない
 - 研究成果の意味も変化
 - 「国家」プロジェクトから「人類」プロジェクトへ
 - 方法・データの共有については助成構造の変化が原因？
 - 研究コミュニティ
 - 学内・研究機関間
 - さまざまな標準、プロトコルの必要性
- ⇒ 研究コミュニティがリポジトリ・インフラの上で研究して、成果を人類が共有する？

評価基盤

- UK、オーストラリアの動向にも注意
- 教育研究における公的資金の重要性
 - 国立は大半が運営費交付金
 - 私立ですら、経常費半額助成(主として教育)
 - 私的財団からの助成は、公的な助成の10分の1
- みんな気になる大学へ行ったお金の行方、使い道
 - 基礎研究 ⇒ 直接、経済への反映
 - 人材養成 ⇒ 知識社会における恒常的知識更新機関
- ちゃんとしたパフォーマンス？ちゃんとした雇用？

図書館＝機関リポジトリ

- 機関リポジトリ \subseteq 図書館
 - 現在、リポジトリは図書館の業務である
- 図書館 \subseteq 機関リポジトリ
 - 機関リポジトリに期待されていることは、これまでの図書館の目的が含まれる
- 「図書館＝機関リポジトリ」が大学の情報基盤を担うということは、これまでとは違う業務内容によって
 - 教育
 - 研究の基盤を担うこと。

「機関リポジトリは図書館を変える」

⇒「機関リポジトリは図書館である」

本当に変わるために「知は力」

- ちょっと読んでみるもの
 - 白書類は一応読んでみてはどうでしょうか。
 - 『科学技術白書』(英文版もある)
 - 『教育白書』 ⇒ 『文部科学白書』(英文版もある)
 - 『通信白書』 ⇒ 『情報通信白書』
 - 英語のメーリングリスト、ブログ
 - 日本語のものは、ちょっとフィルターがあるので(「カレントアウェアネス」、"openaccessjapan.com"だけでは不十分)
 - 図書館系のものにこだわらない
- 論文を書いてほしい
 - 考えが整理できる
 - 予想外の効果があって面白い